



広報 ICHINOSEKI FIRE DEPARTMENT 119

2025 年 秋号
【令和7年】
Vol. 38

掲載記事

● 新はしこ車運用開始

● 令和7年度緊急消防援助隊

● 北海道・東北ブロック合同訓練

● 第9回幼年消防大会

● 冬の感染症対策

● 令和7年度岩手県幼少年

● 女性防火委員会会長表彰



◎新はしご車 運用開始◎



車名：日野

車両分類名：35m 級先端屈折式はしご付消防車

全長：11.45m

全幅：2.49m

全高：3.60m

車両総重量：20,400kg

乗車定員：6人

配備年月：2025 年 7 月

機装メーカー：株式会社モリタ

サイレンアンプ：大阪サイレン



①最高で地上 35m、ビルの 12 階相当まで到達が可能です。さらに、はしご先端が屈折(約 2.5m、最大 80 度)し、電線や樹木などの障害物を避けて建物に接近することが可能。

②地上から - 1 m までの高さまではしごを伸ばすことができ、低所からの救出活動も行える。



令和7年度緊急消防援助隊 北海道・東北ブロック合同訓練



今後一関市消防本部では、大規模災害に迅速かつ的確に対応できるよう、関係機関との連携を一層深め、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。

参加した隊員は、各部隊間の連携や活動手順を確認し、機動力と即応体制の強化を図りました。

一関市消防本部からは、指揮隊、救助小隊、後方支援小隊の3隊11名が参加しました。地震による建物倒壊や火災の発生を想定し、救出救助活動、情報伝達、後方支援など、実践的な訓練が行われました。

令和7年10月10日（金曜日）及び11日（土曜日）の2日間、山形県新庄市において「緊急消防援助隊北海道・東北ブロック合同訓練」が実施されました。

本訓練は、大規模災害発生時における広域的な消防応援活動の連携強化を目的として行われたもので、北海道及び東北各県の消防本部から多数の隊員や車両が参加しました。



第9回幼年消防大会は、令和7年10月30日(木曜日)に一関文化センターで行われ、16クラブから321人が参加し、あらためて火の用心を誓いました。

幼年消防大会は、消防・防災に関する各種体験を通じて幼年消防クラブ員の防火思想の高揚と健全育成につなげようと、両磐地区幼少年女性防火委員会と（一財）日本防火・防災協会、一関市消防本部が共催しています。

一関文化センターでは、「消防広場」として屋外に各種体験コーナーを開設。クラブ員の園児たちは消防車・救急車の乗車体験や煙体験、水消火器による放水などを通じて、消防の仕事や煙の恐ろしさ、避難の仕方などを学んでいました。

第9回 10月30日開催 幼年消防大会



『ぼくたち わたしたち 火遊びしません』

冬の感染症対策

うつらない、うつさないためにできること

空気が乾燥し、気温の低くなる冬は、様々な感染症が流行する季節です。
今回は冬の主な感染症と感染症対策についてご紹介します。
適切な感染症対策を行い、感染症の季節を乗り越えましょう！

冬の主な感染症①

季節性インフルエンザ

特徴: 感染力が非常に強く、日本では毎年約1千万人が感染している。

症状: 発熱(高熱)、倦怠感、頭痛、咳、筋肉痛、
鼻炎、咽頭痛など

潜伏期間: 約1～3日

療養期間: 通常約1週間程度

感染経路: 飛沫感染、接触感染

冬の主な感染症②

RS ウイルス感染症

特徴: 乳幼児が感染しやすいとされているが、成人や高齢者も感染することから注意が必要。保育施設内で感染拡大しやすい。

症状: 発熱、鼻水、咳など

潜伏期間: 約2～8日

療養期間: 通常約1週間程度

感染経路: 飛沫感染、接触感染

冬の主な感染症③

感染性胃腸炎(ノロウイルス)

特徴: 感染力が強く、多様な感染経路をとるため、保育施設、学校、福祉施設などで、感染拡大しやすい。

症状: 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛など

潜伏期間: 約1～2日

療養期間: 通常約1週間程度

感染経路: 飛沫感染、接触感染、経口感染、空気感染

冬の主な感染症④

感染性胃腸炎(ロタウイルス)

特徴: 乳幼児が感染しやすく、感染により免疫を獲得するため、感染を繰り返すごとに症状は軽くなる。

症状: 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、発熱など

潜伏期間: 約2～4日

療養期間: 通常約1～2週間程度

感染経路: 接触感染、経口感染、空気感染

誰でもできる感染対策

手洗い



石鹸を使って
手首や爪の間も洗おう！

うがい



うがい薬を使用すると
より効果的です！

消毒



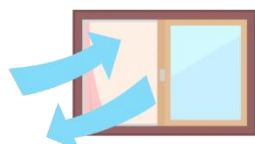
手指だけでなく、触ったドアノブ
なども消毒すると効果的です！

マスク



感染しない、させないために
マスクの着用は重要です！

換気



定期的に換気をして、お部屋の
空気を入れ替えましょう！

加湿



適切な湿度を保ち、ウイルスの
繁殖を抑制しよう！

岩手県幼少年女性防火委員会 会長表彰伝達式

令和7年9月5日(金曜日)に、一関南消防署藤沢分署にて「令和7年度岩手県幼少年女性防火委員会会長表彰伝達式」が行われました。

火災予防意識の高揚および啓発に多大に貢献し、他の女性消防協力隊の模範となる団体として、藤沢町女性消防協力隊が、岩手県幼少年女性防火委員会会長から表彰されました。

藤沢町女性消防協力隊

▼左側 千葉 夏代子 氏【会計】 ▼右側 千葉とき子 氏【隊長】



藤沢町女性消防協力隊の活動について

消火訓練、応急炊き出し訓練などといった有事の際に迅速に対応するための実践的訓練や、住宅用火災警報器設置促進事業、消防団と連携した火防点検といった火災予防広報活動を展開するなど、藤沢地域の防火・防災意識の高揚に努めている。

また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の際には、隣接する気仙沼市や南三陸町に赴き、消防団、自治会、企業などと連携し、支援物資の配布や応急炊き出しなどの被災地支援を長期にわたり実施した。

発行日 令和7年11月28日

編集 一関市消防本部 〒021-0053

岩手県一関市山目字中野 140-3

広報 119